

みちしるべ NO. 3

学校教育目標「自分から行動できる子・すすんで学ぶ子・たすけ合う子・きたえる子」



学びあい 支えあい 高めあい 笑顔あふれる学校

～開校150年 地域とともに伸びる学校を目指して～

時を守り 場を清め 礼を正す ～教育の不易を継承する～ 校長 川島 正晴

木々の緑が深くなり、草花もきれいに咲き誇る季節となりました。保護者、地域の皆様には、新年度も学校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心からお礼申し上げます。

子どもたちは、進級した学年で、学習に生活に、意欲的に取り組んでいます。

4月から、昨年度の日課表を変えました。月・水・金の朝の活動をなくして、60分間の「ロング授業」を位置づけました。繰り返し学習や探究活動のためには、学級裁量で15分+45分であったり30分+30分であったり、60分であったりと学年段階や学習内容によって自由に選択できる時間を確保しました。途中、朝の会や諸連絡、トイレ休憩などを10分間とることができます。プリントを繰り返したり、話し合いをしたり、音読に時間を使ったりと、すでに学年の特長を生かした授業が展開されています。基礎・基本、SDGsやSTEAMに取り組む「変革」の意志の表れです。



もう一つは、「時を守り、場を清め、礼を正す」という「教育の不易」の浸透です。

この言葉は、教育哲学者の森信三さんが「職場再建の3原則」として提唱したものです。

「時を守り」とは、時間や期限を守ることです。時間を守ることは、相手の時間を大切にすること、相手を尊重することです。自分を律することが、信用を積み重ねることにつながります。

権小はチャイムが鳴りません。時計を見て、自分で行動できる子を育てます。

「場を清め」とは、掃除、整理、整頓をする、ということです。これができると、気づく人になれる、心を磨く、謙虚になれる、感動の心をはぐくむ、感謝の心がめばえる、とされています。美しい学校、教室、机、ロッカー…… 一人一人が自分の身の回りからできるように育てます。

「礼を正す」とは、あいさつをすること、返事をするということです。権小の子たちは、学校ではあいさつをしても、門を出るとあいさつができない、と学校評価に書かれます。あいさつは相手の人に心を開き、お互いの関係を仲良くしていきます。返事も同じで、気持ちの良い返事をすればお互いに気持ちがよくなります。明るく元気のよいあいさつや返事をできるように育てていきます。

令和4年度は、権小 DX、権小 SDGs、権小 STEAM(PBL)と、新しい教育の最先端に取り組むとともに、「教育の不易」の部分である「当たり前が当たり前」にできる」伝統の教育を進めます。

結びに、4月23日(土)開校150年記念式典に御参会いただきまして、誠にありがとうございました。歴史と伝統を受け継ぎ、教職員一同、全力で「権小の宝」を伸ばし、育んでまいります。



権小News!

4 / 12 引き渡し訓練



引き渡し訓練へのご協力、ありがとうございました。

4 / 14 交通安全教室



交通ルールをしっかりと学ぶことができました。

4 / 8 入学式



元気いっぱいの1年生8名が入学しました。ステージの上で大きな声で「がんばります」と言えました。

4 / 11 1年生自己紹介



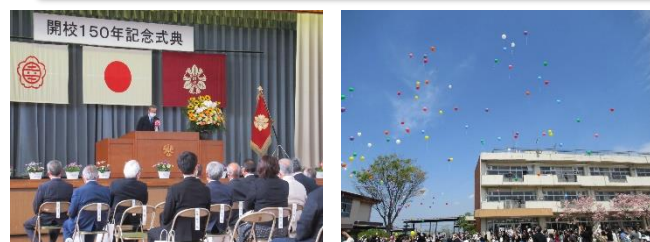
よろしくおねがいします！

4 / 15 離任式



離任式に3名の先生が来てくれました。大変お世話になりました。

4 / 23 開校150年記念式典



たくさんの地域の方にお越しいただき、盛大に開催することができました。

権小ホームページほぼ毎日更新中！